

生徒たちの未来につなげる

ミッションの

教育力

1885年の創立以来、「ミッション」の名で親しまれてきた北陸学院高等学校。キリスト教を土台とした建学の精神のもと、「心の教育」を柱に、ミッションだからこそできる教育を行ってきた。近年では受験者数・入学者数ともに大きな躍進をみせ、進学面でも安定した大学進学率を維持するなど、多くの注目を集めている。



北陸学院高等学校 教諭 高島 央

INTERVIEW

多様化する入試制度に対応した  
「オーダーメイド」の  
進路指導

「推薦に強い」といわれているミッション。豊富な推薦枠を持つだけでなく、生徒が自信を持って推薦入試に臨むことができる環境が整っていることがその理由のひとつである。また、生徒は早い段階から自分自身の進路ストーリーを描き、目標に向けた学校生活を送っている。オーダーメイドの進路指導ともいわれる、きめ細やかなミッションの進路指導を進路指導課の高島央教諭に聞いた。

「推薦に強い」理由

本校は「推薦に強い」ことで定評があります。キリスト教学校教育同盟加盟校を中心に全国約100大学、合計約500名の豊富な推薦枠を持つだけでなく、生徒が自信を持って推薦入試に臨むことができる環境が整っていることも「推薦に強い」といわれる理由です。

推薦入試は3年間の学校生活全体について評価されるので、本校では入学後すぐに進路オリエンテーションを実施するなど、生徒が早い段階から進路ストーリーを描けるように指導しています。こうした取り組みを早期に行うことで、進路に対する意識疎通が深

まるだけでなく、生徒自身のモチベーションを維持向上させることにもつながっています。

望の進路を実現する  
手厚い進路指導体制

本校では、学年ごとに進路指導スケジュールが生まれ、推薦入試を利用するにしても、一般入試にチャレンジャーにしても、生徒が志望の進路を実現するための手厚いフォロー体制が敷かれています。

近年、特に力を入れていることのひとつが、1年生全員が行う「学び直しのトレーニング」です。1日20分のプリント問題を独習することで、小学校・中学校での学び残しに気づ

主な進路イメージ

- 難関国公立大学
- 同志社大学
- 関西学院大学
- 青山学院大学
- 有名私立大学
- 私立大学
- 短期大学
- 専門学校
- 北陸学院大学への特別推薦枠

き、学習への自信をつけてもらう取り組みです。昨年度から本格的に実施しているのですが、多くの生徒の学力向上に効果が認められ、基礎学力の強化にも貢献しています。

また、進路は生徒の将来を大きく左右するものなので、同様に力を注いでいるのが生徒との面談です。一学期の中頃に生徒と二者面談を行い、夏と冬には保護者を含めた三者面談を行います。担任を交えた三者で面談することで、それぞれが抱えている思いや意見の違いも含めて明らかになります。それをふまえたうえで、保護者の意向や生徒の志望に沿った指導を行うようにしています。

生徒の自信につながる  
校内エントリー制度

本校の推薦入試に向けた取り組みのひとつに、校内エントリー制度があります。指定校推薦を希望する生徒には、大学から出題されるレポー

トや課題とは別に、校内選考用としてエントリー用紙への記入と校内面接を課しています。

生徒に対しては公平に推薦枠を利用するチャンスを与え、納得して進学してもらうための制度であり、大学に対しては、期待に応えられる生徒を学校が責任を持って送りだせるように行っているものです。

エントリー用紙には、その学校を志望する理由のほか、3年間の活動履歴などを記入してもらいます。文字数にして3,000字以上の量とあるので、生徒の負荷は決して小さくはありませんが、こうした厳しい校内審査を経ることによって、生徒たちは自信をもって進学していけるようになります。他にも小論文模試や小論文指導講演会の実施、志望理由書の書き方指導など、提出物に対する事前トレーニングも、3年間の進路指導のカリキュラムにあらかじめ組み込まれており、安心して推薦入

生徒の志望を尊重した  
最適な進路サポートを実践

試にもトライできる体制が整っています。

指定校推薦や一般入試、AO入試など、近年の入試制度はますます多様化しています。本校ではこうした制度に対応し、生徒一人ひとりに最適な入試スタイルをサポートしていきます。先にお話したように、面談を重視し、生徒の志望を尊重した進路指導が基本です。頭ごなしに否定することなく、生徒の気持ちを汲み取った上で会話を深め、信頼関係を築いていくことが大切だと思います。

入試制度の変化に伴い、進路指導もまた変化していきます。私たち教師も常に一歩先を見ながら情報収集を行い、指導力をさらに高めて生徒にフィードバックしていければと考えています。



PROFILE

1981年生まれ。石川県河北郡内灘町出身。長崎大学水産学部、金沢大学大学院自然科学研究科生物科学専攻修了後、北陸学院高等学校の理科教諭となる。現在高校3年の学年主任であり、進路指導課とアドミントン部顧問も務める。



生徒に課す校内エントリーシートの一例。



校内選考用エントリーシートでは、希望する大学の志望理由や進学後に学びたいこと、高校生活で学んだことなどを各1,000字程度でまとめることを生徒に課しています。

特別進学コース

難関国公立大学への進学を目指して

確かなサポート体制で、推薦入試はもちろん、センター試験を含む一般入試にも対応できるハイレベルなコース。同志社大学への特別推薦や有名私立大学の指定校推薦も充実しており、多様化する入学試験制度に対応しています。

総合進学コース\*

主に推薦を利用した多彩な進路に対応

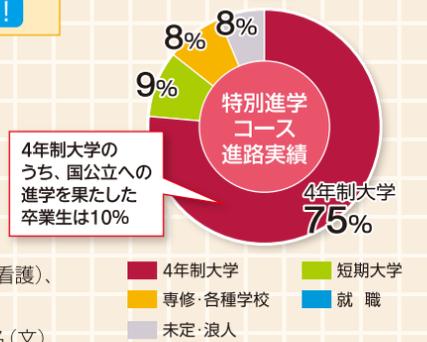
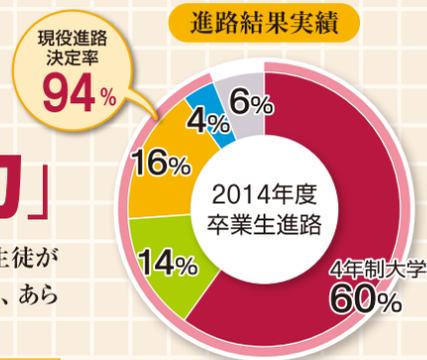
主に推薦入試で4年制大学を目指すコース。全国のおよそ100大学に500名近い推薦枠を有し、北陸学院大学への特別推薦枠が充実しています。大学から就職まで幅広い進路の選択が可能なコースです。

\*選択科目によって理系大学や看護系の学校への進学も可能です。

コース紹介

# 2015年度の大学入試結果から 合格実績で見る「進学力」

特別進学コースを中心に国公立志望の生徒が増加する中、10名（過年度含む）の生徒が国公立大学に合格。また、今年度は看護系や福祉系の学部を希望する生徒も目立ち、あらゆる入試スタイルを活用し、94%の生徒が希望する進路へと歩みを進めました。



2014年度卒業生4年制大学・短期大学等合格実績 **すべて現役合格!!**

## 特別進学コース

- 国公立大学** 金沢大2名(人文、学校教育)、富山大3名(工、人間発達、理)、石川県立大2名(生物資源環境)、石川県立看護大(看護)
- 私立大学** 北陸学院大2名(人間総合)、同志社大9名(社会、心理、神、スポーツ健康、政策、生命医科学、文化情報、文、法)、関西学院大6名(教育、経済、人間福祉、文、理工)、青山学院大(文)、金沢医科大学(看護)、金沢学院大(文)、金沢工業大6名(環境・建築、情報フロンティア、バイオ・化学)、金沢星稜大2名(経済)、岐阜経済大(経営)、京都産業大3名(経済)、京都女子大2名(文)、京都橘大2名(現代ビジネス、文)、京都ノートルダム女子大(人間文化)、金城大3名(看護)、神戸女学院大2名(文)、国立音楽大(音楽)、埼玉医科大学(保健医療)、仁愛大(人間生活)、聖心女子大(文)、玉川大(農)、中部大2名(経営情報、国際関係)、中部学院大(人間社会)、中大(経営)、東京女子大(現代教養)、東洋英和女学院大(国際社会)、新潟医療福祉大(医療技術)、広島国際大(医療福祉)、北陸大(未来創造)、明治学院大2名(国際、社会)、龍谷大3名(経済、文、国際)
- 短期大学** 北陸学院大学短期大学部5名、青山学院女子短期大学、小松短期大学2名、女子栄養大学短期大学部、富山福祉短期大学2名

## 総合進学コース

- 私立大学** 北陸学院大11名(人間総合)、愛知淑徳大(メディアプロデューサー)、大阪学院大3名(経営、経済)、金沢学院大2名(経営情報、スポーツ健康)、金沢工業大2名(工)、金沢星稜大3名(経済、人間科学)、京都造形芸術大(芸術)、金城大4名(社会福祉、看護、医療健康)、相模女子大(人間社会)、作新学院大2名(人間文化)、上武大(ビジネス情報)、鈴鹿医療科学大(保健衛生)、名古屋外国語大(外国語)、名古屋商科大(商)、日本大(国際関係)、日本社会事業大(社会福祉)、阪南大2名(経済)、フェリス学院大2名(文、国際交流)、福井工業大(環境情報)、北翔大(教育文化)、北陸大2名(未来創造)、明治学院大(社会)、名城大(法)、四日市大(総合政策)
- 短期大学** 北陸学院大学短期大学部11名、金沢星稜大学女子短期大学部3名、関西外国語大学短期大学部、金城大学短期大学部、富山福祉短期大学、福井医療短期大学

参考：過年度生の合格実績(2015年度) 北海道大(歯)、横浜国立大(教育人間)、慶応義塾大(総合政策)、東京経済大(国際社会)、立教大(現代心理)

## 学校・入試説明会のお知らせ

### 北陸学院高等学校

- 11月21日(土) 学校・入試説明会①
- 11月28日(土) 学校・入試説明会②
- 12月5日(土) 学校・入試説明会③

### 北陸学院中学校

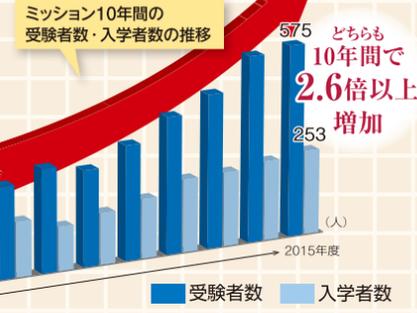
- 9月19日(土) 学校説明会
- 10月24日(土) 入試問題解説会



※詳しくは、本校にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。



# 「勉強プラスもうひとつ」が育む 進化する学校 ミッション



少子化の時代にあって、この10年間で受験者数・入学者数ともに大きく躍進した北陸学院高等学校(ミッション)。ミッションが「選ばれる学校」としてますますの進化を見せる理由を、データで明らかにします。

DATA.1 どのような教育方針ですか?

「勉強プラスもうひとつ」で  
バランス良い学校生活

部活動や学校行事など、生徒達には、その時期にしかできない経験を積んでほしいというのが基本的な考え方。2つのコースどちらの生徒も、勉強と「もうひとつ」を両立させながら、人間的に成長し、一般入試と推薦入試を併用して進学を果たすのがミッション流の受験スタイルです。

勉強 + もうひとつ  
キリスト教(土台)

DATA.2 数多くの指定校推薦枠があるってホント?

指定校推薦枠  
約100大学  
約500人

同志社大学・関西学院大学・青山学院大学への近道

同志社大学に12名、関西学院大学に16名、青山学院大学に7名の推薦枠を有しており、県内でこれらの大学に最も近い高校といえます。ほかにも全国およそ100大学・約500名の指定校推薦枠もあり、幅広い選択肢の中から将来を指すことができます。  
※推薦枠は今後変更になる場合があります。詳細は本校までお問い合わせください。

同志社大学

DATA.3 学校行事に特色はありますか?

一人ひとりが主役の心を育む「ならでは」の行事

花の日礼拝やクリスマス行事など、キリスト教教育校ならではの行事が多くある他にも、生徒自身が主体的に取り組み、運営する行事が多いのもミッションの特徴です。仲間とともに、時にはぶつかり合い、互いを認めながら何かをやりとげる経験は、人として成長するための学びの場でもあります。

花の日礼拝  
学校クリスマス

YES!

ミッション祭